



南中学校だより

令和 7 年 4 月 8 日 (火)
東松山市立南中学校 校長
栗田 秀人

【学校教育目標】心を磨き 本気で学び たくましく

第 1 号

【目指す学校像】生徒一人一人が生き生きと輝き存分に躍動するとともに、家庭・地域と信頼の絆で結ばれる学校

令和 7 年度 入学式 式辞より

意欲をもって学ぼう（読書の勧め）・命を大切にしよう

(略)

さて、本日、無事に入学式を迎えられた 222 名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。在校生一同、また、全教職員を上げて歓迎いたします。中学校での生活に期待と不安が入り混じっていることと思いますが、そんな中でも、皆さんが礼節をわきまえ、式にふさわしいよう気持ちと身だしなみを整えて、静かに着席している様子に、中学生になったという自覚と、自分を律することのできる芯の強さを感じています。素晴らしい姿に感心しています。南中学校の目指す学校像は「生徒一人一人が生き生きと輝き存分に躍動するとともに、家庭・地域と信頼の絆で結ばれる学校」です。素晴らしい姿を示している新入生の皆さんが、この目指す学校像にあるように「生き生きと輝き存分に躍動できる」、そんな中学校生活を送れるようにするために、二つの話をします。

一つ目は、意欲をもって学ぶことです。中学校での学びに早く慣れ、自ら、より深く学ぶことを心がけてください。そのための方法として、私は本を読むことを勧めます。皆さんは読書に夢中になり時間が経つのを忘れてしまう、というような経験をしたことがあるでしょうか。私は、年間に数度、そんな経験をすることがあります。長距離の電車移動の時、本に夢中になり、気づいたら目的の駅についてしまい、慌てて下車する。夜、布団に入って本を読み始める。いつもはすぐに眠ってしまいますが、本の佳境に入りつい夢中になると、空が白み始めている、そんな経験です。読後、様々に浮かんでくる感想、文章を書こうとすると、ふっと頭に浮かぶ、本に書かれていたワンフレーズなど、思った以上に一冊の本から学ぶことが多いことに気づきます。どれも気持ちがとても豊かになります。気持ちの面で、大きく成長する中学生としての三年間で、本を読む癖を是非つけてください。

二つ目は、人間にとって一番大切な命を、とにかく大事にしてほしい、ということです。自分の命はもちろんのこと、家族や友だち、同級生、全ての人の命です。ウクライナやパレスチナを舞台にした戦争のニュースが聞かれます。学校では、様々な原因で自ら命を絶ってしまうというニュースが、時々伝えられています。一方で、人間にとって一番大切な命を守るため、世界や日本、そしてここ埼玉県や東松山市でも、心ある人が知恵をしぼり、努力をしています。新入生の皆さん、こちらに注目してください。保護者の皆様もご覧ください。(ハートの紙)

このハートは、立派に成長した皆さんの心だと思ってください。実は、このハートの真ん中に針で明けた小さな穴が開いています。近くで見えてもわからないほどの小さな、小さな穴です。さてこの針の穴は何の大きさでしょうか？実は、この穴は、皆さんがお母さんのお腹の中にいた時の、初めて命として宿った時の大きさを示しています。こんな針の穴ほどの大きさで生を受けた皆さん一人一人が、様々な人に助けられて成長して、それぞれが心を持った、立派に中学生になったわけです。これはすごいことです。命の奇跡です。今日のこの奇跡をずっと忘れないでください。

次に、この紙をこうしてみます。(くしゃくしゃに丸める。) この紙を広げてみましょう。破かないように丁寧に広げてみます。(広げた紙をもって・・・) さあ皆さん、くしゃくしゃにする前の紙と、この紙とを比べて、何か気づくことはありませんか？遠くの方にて見えない人も、よく想像してみてください。そうです。丸めた紙を丁寧に広げましたが、ハートにしわが入ってしまいました。このしわは、どれだけ丁寧に伸ばしたとしても、完全に無くなることはありません。元のようにつるつるの、傷の無い紙には戻らないのです。これは人間の心にも言えることです。様々な原因で一度傷ついた心は、この紙と同じように、二度と元のように戻りません。皆さん、このことをよく覚えておいてください。心に傷を負った友だちや、ましてや自ら命を絶つような仲間を、この南中学校から出すわけにはいかないのです。

新しいスタートの中学校の入学式で、自分の命はもちろんのこと、他の人の命も大切に学校生活を送っていき、皆さん今心に誓ってください。命を、人の心を大切にできる、そんな南中生になってください。(後略)

生徒一人一人が生き生きと輝き存分に躍動する学校に！

保護者・地域の皆様へ

令和7年度が始まります。今年の南中学校は、新1年生222名を加え、生徒数647名、学級数22学級でのスタートとなります。教職員は、岡部教頭先生はじめ転出された先生方に代わり 新たに権田教頭先生以下、新進気鋭から経験豊富なベテランの先生まで、総勢59名のスタッフでの滑り出しとなります。

また、今年は、『目指す学校像』を「生徒一人一人が生き生きと輝き存分に躍動するとともに、家庭・地域と信頼の絆で結ばれる学校」と改めました。これは、これまでの「感動・躍動・信頼」の考えを踏まえて、具体的な表現に改めたものにしました。生徒一人一人が、それぞれに自己肯定感や自己有用感を味わうことができ生き生きと躍動する姿をたくさん見られる学校を目指します。一方で、学校、家庭、地域がこれまで以上の強い絆で結ばれ一体となって生徒を育んでいくことに邁進する、という思いを込めました。

どうか保護者・地域の皆様には、昨年にも増して、南中学校の学校運営に、ご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和7年4月8日 東松山市立南中学校長 栗田 秀人

令和6年度末で南中を転退職された教職員

令和7年度当初南中に新転入された教職員

